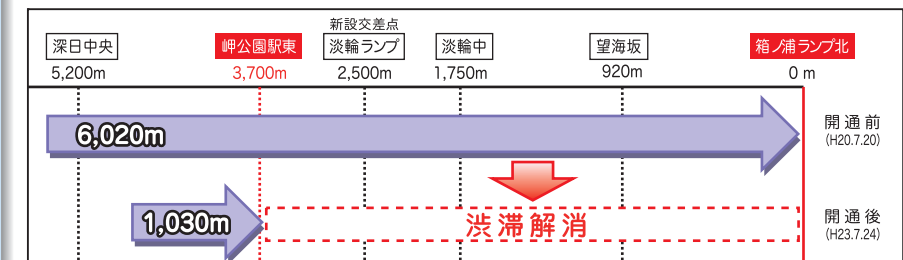


整備効果

淡輪ランプまでの暫定2車供用で渋滞が緩和

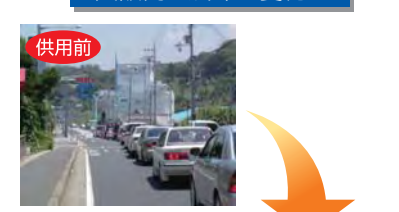
箱ノ浦ランプ～淡輪ランプ間の暫定供用により、箱ノ浦ランプ北交差点付近の渋滞が解消するなど交通状況が改善されました。岬町では国道26号が唯一の幹線道路ですが、岬公園駅東交差点の渋滞は依然(最大渋滞長1,030m)残っており、残る区間の整備により渋滞の緩和が期待されます。

■国道26号(大阪向き)の最大渋滞長の変化
箱ノ浦ランプ北交差点(大阪向き)の交通渋滞の変化(17時台)



開通前:平成20年7月20日(日)(国土交通省調べ)
開通後:平成23年7月24日(日)(国土交通省調べ)

箱ノ浦ランプ北交差点
大阪向き渋滞の変化



供用前
平成20年7月20日
供用後
平成23年7月24日

緊急車両の搬送時間短縮
(救急医療活動の支援)

阪南市～岬町域において救急車が動出した場合、府県境を越えて和歌山市への搬送するケース(機会)が年々増加しています。第二阪和国道は、救急搬送の所要時間の短縮で救急搬送の「命の道」としての役割を果たします。

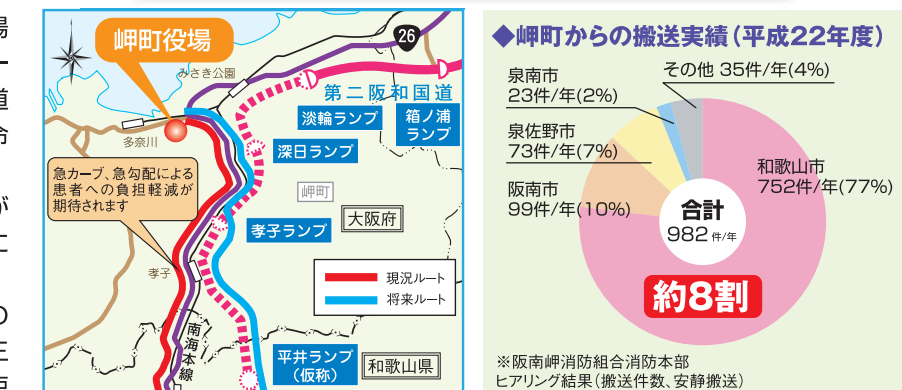
一般に重篤な救急患者(重症者のうち症状が著しく重い患者)は30分以内の治療が生死に影響すると言われています。

第二阪和国道の整備により、岬町から最寄りの高度な医療を総合的に提供する医療機関(第三次救急医療機関)までの所要時間が約12分短縮し、また渋滞の減少により、救急搬送時間の安定が期待されます。

※第三次救急医療機関とは、第二次救急医療機関では対応出来ない複数の診療科にわたる重篤な救急患者に対し、24時間体制で高度な医療を総合的に提供する医療機関で、救命救急センターと呼ばれる。

※第二次救急医療機関とは、入院治療を必要とする重症救急患者の医療を24時間体制(複数の医療機関によるを含む)で担当する機関。

全線供用すると、岬町から30分以内で
和歌山市内の病院へ緊急搬送出来ます。



◆岬町からの搬送実績(平成22年度)
和歌山市 752件/年(77%)
大阪府 23件/年(2%)
その他 35件/年(4%)
合計 982件/年
約8割

※阪南岬消防組合消防本部
ヒアリング結果(搬送件数、安静搬送)

※最速搬送の時間は、平成23年ロードデータ
全線供用後の平成22年度道路交通センサス参照。
※緊急車両の制限速度:第二阪和国道
区間は80km/時の道路は規制速度とする。

▲渋滞をかわき走行する救急車
(和歌山市島橋田交差点付近)

地域活性化の支援

和歌山大学周辺で開発中の大規模な住宅地造成計画地域にランプを設置することで定住促進、郊外型大型ショッピングセンターの誘致等、地域の活性化が期待されます。

●大規模な宅地造成計画



第二阪和国道 緑と風のマリンロード



国土交通省
近畿地方整備局

浪速国道事務所
〒573-0094 枚方市南中浜3丁目2番3号
Tel. 072-(833)0261 Fax. 072-(833)9424
<http://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa/>

和歌山河川国道事務所
〒640-8227 和歌山市西江戸16番
Tel. 073-(424)2471 Fax. 073-(424)2485
<http://www.kkr.mlit.go.jp/wakayama/>

道路緊急ダイヤル
全国共通
電話番号
#9910

道路の異常を発見したらお知らせ下さい
落下物 落石 雪崩 路面の穴 道路の陥没 道路の陥没 道路の陥没

▲岬町浪輪高架橋より本線と和歌山方面を望む
再生紙を使用しています。H24.4

第二阪和国道

〈国道26号〉

緑と風のマリンロード

【第二阪和国道】

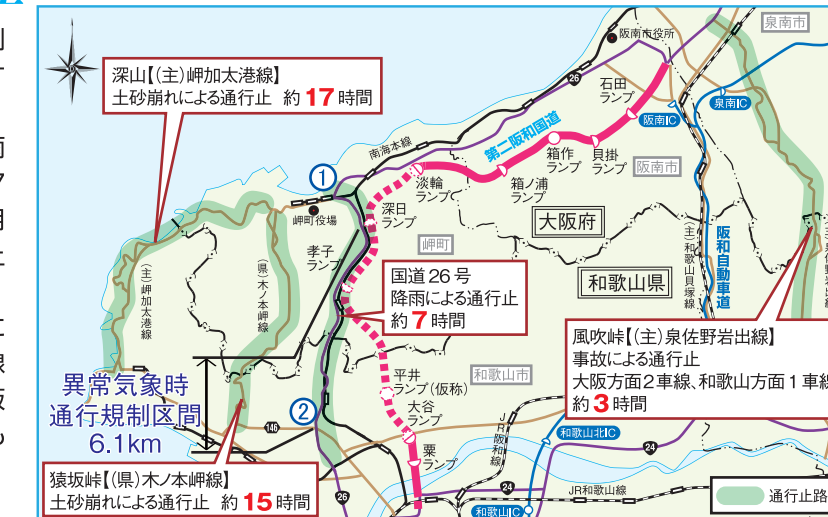
第二阪和国道(地域高規格道路整備区間)は、大阪府阪南市自然田から和歌山県和歌山市元寺町を結び延長約20.6kmの道路です。本道路は慢性的な渋滞解消、急カーブ、急勾配等の解消を目的として計画された道路です。

【現状】 岬町では国道26号が唯一の幹線道路

大雨等による通行規制が発生 ●平成22年7月14日発生の大雨による通行規制状況

府県境を結び国道26号には異常気象時通行規制区間が設定され、大雨などによる通行止めが発生するなど、大阪と和歌山を結ぶ幹線道路は脆弱です。最近では平成22年7月14日(水)発生の大雨により通行規制が行われ、国道26号では最大約7時間通行止めとなりました。第二阪和国道が全線供用すれば、新たなルートが確保され交通の信頼性が向上します。

また府県境区間は南海線も近接しており、過去に重大な事故による通行止めが発生しています。全線供用されると、国道26号から、走行性の高い第二阪和国道へ交通が転換されこうした重大事故の減少も期待されます。



重大事故による通行止め事例

●衝突事故で約5時間の通行止めが発生

・発生日:平成18年1月27日(金)
・発生状況:貨物車とトラックが衝突し、その反動でトレーラーが南海電鉄の軌道敷を横断
・規制時間:深日中央交差点～和歌山交差点間通行止め約5時間、片側交互通行約10時間



第二阪和国道の並行する国道26号の渋滞は依然として深刻です。

第二阪和国道と並行する国道26号は依然として交通量が多く、その結果岬町内の岬公園駅東交差点(最大1,030m)、和歌山市内の御膳松交差点(最大1,720m)をはじめ多くの箇所で渋滞が発生しています。



※岬公園駅東交差点渋滞長:
平成23年7月24日調査
延時交差点渋滞長:
平成23年8月2日調査
御膳松交差点渋滞長:
平成23年8月2日調査
狐島交差点渋滞長:
平成19年5月29日調査

▲御膳松交差点北向きの渋滞
平成23年8月2日(火)

〈国道26号〉

今後事業化区間が供用することにより、国道26号の渋滞解消、沿道地域における緊急車両の走行時間短縮、交通の信頼性の向上に寄与することが期待されます。

道 路 名	国道26号 第二阪和国道
事 業 区 間	阪南市自然田～和歌山市元寺町
延 長	20.6km
道 路 規 格	第1種第3級及び 第3種第1級
車 線 数	本線4車線 側道2車線※
設 計 速 度	本線80km/h(暫定60km/h) 側道 阪南(40km/h) 和歌山(50km/h)

■第二阪和国道全体図



昭和62年度	岬町域都市計画決定(昭和63年2月29日) 阪南市域、和歌山市域都市計画決定(昭和63年3月30日)
昭和63年度	事業化(阪南市自然田～岬町淡輪、和歌山市大谷～元寺町)
平成2年度	用地買収着手(和歌山市大谷～元寺町)
平成5年度	用地買収着手(阪南市自然田～阪南市箱作)
平成6年度	地域高規格道路計画路線指定
平成7年度	地域高規格道路整備区間に指定 (阪南市～岬町淡輪、和歌山市大谷～元寺町)
平成8年度	工事着手(阪南市域、和歌山市大谷～元寺町)
平成15年度	自然田～箱作ランプ間暫定供用(平成15年4月) 和歌山北バイパス全線供用【JR立体交差化を除く】(平成15年4月) 用地買収着手(阪南市箱作～岬町淡輪)
平成16年度	箱作ランプ～箱ノ浦ランプ間暫定供用(平成16年6月) 地域高規格道路整備区間に指定(岬町淡輪～岬町深日)
平成17年度	事業化(岬町淡輪～深日)
平成18年度	工事着手(阪南市箱作～岬町淡輪) 地域高規格道路整備区間に指定(岬町深日～和歌山市大谷)
平成19年度	事業化(岬町深日～和歌山市大谷)
平成21年度	平井ランプ(仮称)都市計画変更(平成22年3月30日)
平成22年度	孝子ランプ都市計画変更(平成23年1月6日) 箱ノ浦ランプ～淡輪ランプ間暫定供用(平成23年3月26日) 用地買収着手(岬町淡輪～深日)
平成23年度	用地買収着手(岬町深日～和歌山市大谷) 工事着手(岬町淡輪～深日)(和歌山市平井～大谷)

